

【図工科】

各学年共通

- ◎読み解く力〈6つの領域〉について、意識した授業を行う。
- ◎教科書分析を行い、言葉にこだわり、「読むこと・書くこと・話すこと」の時間を重視する。
- ◎必然性のある内容を工夫し、家庭学習との連携を図る。

1年

■児童の状況	○楽しみながら意欲的に取り組んでいる。 ○授業でのルール、めあて、道具の使い方などを理解し意欲的に取り組んでいる。 ●学習過程・表現の自由度を理解できていない児童がいる。 ●グループ制作などで協力できない児童がいる。
■指導についての課題	・ 今後は、自分が何をするのかを一人一人にしっかりと理解させ、その中でのびのびと楽しく制作に当たらせる。
■授業改善に向けての具体的な方策	・ 学習過程・表現の自由度をしっかりと一人一人がわかりやすい指導を行う。 ・ グループ制作などで協力が必要な場面での協力のさせ方を工夫する。

2年

■児童の状況	○創作活動を楽しみながら意欲的に取り組んでいる。 ○工作や絵などに関わらず、すすんでつくることができる。 ○絵の具の使い方が少しずつ身に付いてきた。 ●学習過程・表現の自由度を理解できていない児童がいる。
■指導についての課題	・ 感性を育むためには、基礎基本の時間を今以上に十分とって表現の幅を増やす必要がある。
■授業改善に向けての具体的な方策	・ 工作では紙を使いこなせるように多種のテーマを設定し、楽しみながら工作ができる指導をする。 ・ 自分の思いを表現できるように、作品を作り始める前にイメージをもたせる。 ・ 時間内に片付けまで終わるように工夫していく。

3年

■児童の状況	○創作活動を楽しみながら意欲的に取り組んでいる。 ●創作活動の内容によって取り組み方に差が出る特徴がある。
■指導についての課題	・ 3年生になり、道具・材料の扱い方を学ぶことが増えているため、丁寧に押さえていく指導をしていく。 ・ 題材によって取り組みの差が出ないようにするために作品のイメージをもたせるための印象付けを大切にしていく。
■授業改善に向けての具体的な方策	・ 授業の中で、道具・材料の扱い方を繰り返し全体で押さえるとともに、表現方法に行き詰まった場合には、個別に要点を絞り支援する。

4 年	
■児童の状況	○創作活動を楽しみながら意欲的に取り組んでいる。 ○新しいことに意欲的に挑戦している。 ●創作活動の内容によって取り組みに差が出る特徴がある。
■指導についての課題	・描きたいもの、作りたいものを表現することができるが、発想や表現方法に広がりをもたせたい。
■授業改善に向けての具体的な方策	・作品に対して工夫して取り組めるよう構想を練る時間を大切にしたい。 ・作品づくりに夢中になれるような題材や材料などを工夫する。

5 年	
■児童の状況	○素材感や題材を楽しみながら意欲的に取り組んでいる。 ●完成イメージが難解で技力が伴わず、モチベーションが落ちてしまう児童がいる。
■指導についての課題	・自由に自分を表現するような作品は難しい児童が多い。
■授業改善に向けての具体的な方策	・作品のテーマ、表現方法などを紹介したり、確認したりした上で創作活動が始める。 ・いきなり完璧を求めるのではなく、楽しく新しいことに挑戦できるよう意識付けをしていく。 ・構想を練る時間を確保する。 ・基礎的な道具や材料の使用の個別指導が必要。

6 年	
■児童の状況	○自分の経験を生かした表現をすることができる。 ○創作活動を楽しみながら意欲的に取り組んでいる。 ●自己評価は高いが、仕上げが雑な児童が多い。
■指導についての課題	・既習事項を基礎とし応用させた表現が難しい児童がいる。
■授業改善に向けての具体的な方策	・作品づくりに夢中になれるような題材や材料などを工夫する。 ・個別には、発想を促すような声かけや技法の紹介などを行う。 ・6年生になり、今までに学んできた道具・材料の扱い方を活用して作業することが増えているため、使い方の確認をしながら指導をしていく。